

お知らせ

2024年度より、メルマガは月1回配信になりました！ぜひご登録ください。



OFIX公式キャラクター
ボラちゃん

TOPICS

- ・ リニューアルのお知らせ
- ・ OFIX防災・災害事業紹介
- ・ オリオン寮元管理人インタビュー
- ・ 大阪府外国人情報コーナー

リニューアルのお知らせ

新年度に伴い、ホームページやメールマガジンのリニューアルしました。公式noteアカウントも開設したので、詳しく紹介します。

1 ホームページ

<https://www.ofix.or.jp>



在阪外国人をはじめ、ユーザーの皆さんが、より情報取得がしやすいようにホームページをリニューアルしました。

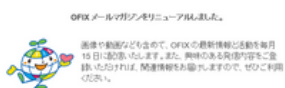
多言語トップページも作成し、大阪府外国人情報コーナーやよくある生活質問集等、外国人が日本で生活する際に役に立つ情報にアクセスしやすいことをめざしています。

また、災害時多言語発信サイト・アプリOsaka Safe Travelsに代わる災害時多言語発信のページ（11言語）も作成しました。OFIXのSNSと連携し、緊急時に迅速に多言語で情報を発信します。

さらに、OFIXの活動が一覧できるようイベントカレンダーを追加しました。OFIX主催のイベント、研修会や交流会などを随時更新しますので、ぜひチェックしてみてください。

2 OFIXメールマガジン

<https://www.ofix.or.jp/archive/>



3 OFIX公式note

https://note.com/ofix_jp



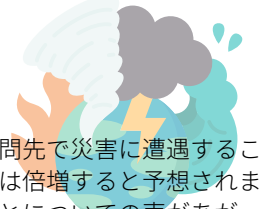
はじめまして。

はじめまして、大阪府国際交流財団 (OFIX) です。1989年から国際交流に関する様々な活動を行ってきました。今は、大阪にいる外国人の皆さんにも協力してもらいながら、誰もが安全・安心に暮らせる多文化共生社会の実現に向けて事業を進めています。

OFIXの最新情報と活動をいち早くお届けするために、4月より、日本語と英語で月1回メールマガジンを配信することになりました。興味のある方はぜひご登録ください。

国際交流や多文化共生について一緒に考えるプラットフォームとして、OFIX公式noteを開設しました。月1回更新する予定です。

OFIX防災・災害事業紹介



年始の能登半島地震に限らず、国内外で様々な災害が発生しています。居住地が被災するだけでなく、訪問先で災害に遭遇することも想定されます。外国人の方であれば、言語でのコミュニケーションが不足することで、混乱や困りごとは倍増すると予想されます。実際に災害に遭遇した外国人の方からは、状況把握や避難についての知識が乏しいことからくる困りごとについての声があがっています。

そのためにOFIXでは、災害時に多言語支援センターを立ち上げ、様々な支援を行う体制をとっています。注意喚起や避難情報など、多言語での情報発信をしたり、被災地のニーズに応じて、通訳派遣等にも対応します。さらに、関係機関とのネットワークでカバーできる仕組みもあります。

いざという時に迅速・適切に対応できるかは、いかに事前に防災について学んでおくかが大切であり、組織として様々な研修を実施して備えています。

協力型防災ゲーム「LIFE」ワークショップ 2月8日(木)

みなさんは、協力型防災ゲーム「LIFE」をご存じですか？

「LIFE」は、「防災」をテーマにした協力型ボードゲームです。

このゲームでは、地震や台風の他に、感染症などの様々な災害が起こり、プレイヤーは其中で、いかに生存するかが求められます。初級編は自助を学ぶ個人戦、中級編は共助を学ぶチーム戦の設定になっており、助け合い次第でプレイヤーの生存率が格段に上がるなど、共助の大切さを学ぶことができます。

既に多くの自治体の学校や市民向けの防災イベントなどで取り上げられており、OFIXでも近畿地域の国際交流協会とともに体験ワークショップを開催しました。

参加者からは、「すぐに市民や災害時ボランティアさんと一緒に体験する機会を設けたい」「外国人の方だけではなく、多様なマイノリティの視点を組み入れると、より良い」などの感想が寄せられました。

みなさんも、学校、職場、日本語教室の仲間とともに「LIFE」を体験し、学んだことを友人や身の回りの外国人の方に伝えてください。



「2023年度 災害時通訳・翻訳ボランティア研修」 2月13日(火)

OFIXの災害時通訳・翻訳ボランティア制度のしくみと活動内容について紹介した後、大阪市立阿倍野防災センターの体験コースに参加し、防災に対する知識と技術を、体験を通して学習しました。その後、外国人被災者の目線になって、被災時の困りごとや求められる支援について、グループで話し合いをしました。

続いて、OFIXネパール語登録相談員のアディカリ ビカシュ氏に、2016年に発生した熊本地震での自らの被災経験をお話いただきました。日本に来て間もなく地震に遭遇し、配給されたおにぎりの食べ方が難しかったことや、お茶が苦くて飲めなかった等のお話がありました。改めて、日本人にとって当たり前のことが外国人にはいかに難しいことかと気づかされました。

最後に、言語ごとのグループに分かれて、災害時を想定した通訳のロールプレイを実施しました。参加者は、外国人相談者役と多言語支援センターの職員役とのやりとりを、それぞれの言語で通訳しました。

ロールプレイ実施後には、外国人相談者役よりグループ全体へむけてフィードバックがあり、とても参考になったとの感想をいただきました。

後日、災害時通訳・翻訳ボランティア登録者全員に対して、この研修の記録や災害用語に関するやさしい日本語のウェブサイトを共有しました。



「2023年度 第2回 大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議」 3月25日(月)

この会議は、大阪府域で大規模災害が発生した際に、外国人の方への支援を円滑に実施することを目的に、年2回開催しています。

元日に発生した能登半島地震での外国人支援について関心が高まるなか、日本災害医療通訳ネットワーク(J-MIND)代表 益田 充氏を講師に迎え、災害時の医療通訳について、能登での活動報告も含めてお話いただきました。

活動の様子はメディアでも取り上げられており、通訳支援を受けた被災外国人の方の感想なども、動画で見ることができました。<https://www.youtube.com/watch?v=lgiT8AlteoU> J-MINDの取り組みについては、参加者からも事前に多数の質問が寄せられ、中には日頃の相談対応との連携体制や共催事業の企画に及ぶものもありました。



専門的な知見も踏まえたお話の随所に、国際交流協会単独では対応しきれない、災害時の医療通訳についての学びがありました。

大阪府堺留学生会館オリオン寮 元管理人インタビュー

13年間オリオン寮の管理人として勤務してきた仲村さんが2024年3月末を以て退職されることになりました。退職を前に、管理人として勤務したこれまでの経験と感想を伺いました。長い間ありがとうございました。お疲れさまでした。

自己紹介

オリオン寮で管理人の業務を行っております仲村です。私は丁度東日本大震災が発生した2011年の4月からオリオン寮管理人に採用され、これまで13年間に渡りオリオン寮管理人の仕事を続けてきました。しかし年齢的に遠距離通勤が辛くなってきて、この3月で管理人の仕事を終了して新しい管理人さんに仕事を引き継ぐことになりました。

この13年間、いろいろな国からのいろいろなタイプの留学生の方々を迎え入れ、また送り出してきました。それらの留学生の方々と接した日々の経験は鮮烈に私の記憶に焼き付いており、ずっと忘れる事はないと思います。とても良い経験になったと思っています。



仲村元管理人@オリオン寮

管理人の仕事をはじめた経緯について

商業印刷のプリプレスと呼ばれる工程で使用されているドイツメーカーの製品を扱っている外資系の会社でエンジニアとして長らく勤務しました。機械の据え付けやトラブル発生時の対応を行ってき、製品の研修でドイツのトレーニングセンターや他の国へ行って受講する機会を多くありました。その折に様々な国のエンジニアの方々に会い親交をもってきましたし、外国の人々と繋がることの素晴らしさを肌で感じてきました。

こちらの会社を定年で退職後に求職活動をしていましたら、OFIXのオリオン寮の管理人募集の求人情報を見ました。この後の人生を、国際都市「大阪」の海外からの留学生受け入れ先となる留学生会館に入居されている方々の快適な生活のサポートを通して国際化促進のお役に立てればと応募し、採用されました。

仕事内容について

管理人の仕事内容は、OFIX職員として寮に常駐勤務してオリオン寮全体の管理運営を行うことです。建物内外の設備の不具合発生時の対応や共用部や各居室に設置されている機器の不具合の対応、寮生の入居や退去時の対応、寮生宛の郵便物や宅配便を寮生に代わり受け取りその後受け取りに来た本人に渡す業務、寮生からの質問・相談やクレーム対応及び外部の方が訪ねて来られた時の窓口対応を行っています。また台風等の災害発生時には情勢が落ち着くまで寮に残って待機することもあります。

仕事するにあたって心がけていること

日本に留学して勉学を志す皆さんは母国を離れて不慣れな生活をしていく訳ですから不安やわからない事が多くあると思います。そういった時に日常生活をしている寮の管理人が近づき難い雰囲気がある場合は、相談や質問をしたいのに向こうから話しかけてくるのは難しいと思いますので、できるだけ親しみやすい雰囲気作りを心掛けています。

そのためには、日々、寮に居住しているどの寮生に対しても出かけて行くのを見かけたらこちらから積極的に「行ってらっしゃい」帰って来たのを見かけた寮生には「おかえりなさい」とこちらから積極的に話しかけるようにしています。私の経験では最初はこのような挨拶で声掛けしても無反応な場合が多いですが、それを続けていると向こうも反応して「行ってきます」や「ただいま」等の挨拶を返してくれたり、ジェスチャーで反応してくれたりするようになります。そうするとお互いに親密感が増えて向こうから挨拶してくれたり話かけてきてくれたりするようになるものです。後は、このような日常を経て名前と顔が一致するようになると、日々の必要な管理人業務の中で特定の寮生にコンタクトする必要が生じた場合等にやり易い面もあります。



特別大変だった、もしくは印象に残った出来事

オリオン寮は大勢の留学生が集団生活をする場なので、なんといってもコロナ渦の時は緊張した毎日が続いたので大変でしたし、忘れられない経験でした。数名の自室療養する寮生は出ましたが、幸いにして大きな集団感染は発生せずピークを越えられたのは当時居住していた寮生の皆さん達の徹底した自己管理の賜物だったのだらうと思います。

また、印象に残る出来事としては、オリオン寮に住んでいて退去した寮生さん達が日本にまた来る機会があった時などに、近くに来たから、当時が懐かしいからと、わざわざオリオン寮に立ち寄って管理人に会いに来てくれることがあります。自分も彼らが住んで居たころを思い出しますし、このようなときはとても感激しました。

インタビューの番外編はOFIXの公式noteに載せる予定ですので、ぜひチェックしてみてください。

オリオン寮・Orion International House
<https://www.ofix.or.jp/dormitory/>



大阪府外国人情報コーナー

月、金曜日 9:00～20:00 (毎月第3または第4金曜日のみ21:00)
火～木曜日 9:00～17:30
第2、第4日曜日 13:00～17:00

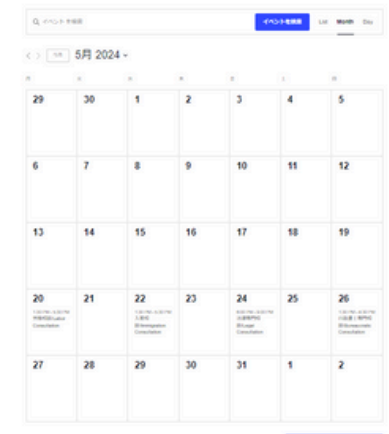
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5
マイドームおおさか5階
Tel : 06-6941-2297
Email : jouhou-c@ofix.or.jp ※日本語、英語のみ



専門相談も設けています

外国人向けの専門相談（弁護士相談、行政書士相談、労働相談、出入国在留管理庁職員による在留関係の相談、臨床心理士相談）を毎月実施しています。ぜひ気軽にご利用ください。事前予約が必要です。
※毎月実施していない専門相談もあります。

詳しくはOFIXホームページのイベントカレンダーをご覧ください。
<https://ofix.or.jp/calendar/>



外国人のための生活質問集FAQもあります

外国人のための生活質問集をホームページに11言語で掲載しています。出入国、国籍・結婚、医療・福祉、労働・仕事等色々なテーマがあります。

よくある生活質問集（11言語）
<https://ofix.or.jp/life-in-japan-faq-japanese/>

OFIX賛助会員募集中！

法人1口年額50,000円 個人1口年額3,000円
<https://www.ofix.or.jp/donate/>

- ◆OFIX発行の印刷物、報告書その他の刊行物を無償又は優先的に提供
- ◆OFIXの事業活動や国際交流に関する情報等を掲載した「OFIXニュース」(季刊)や報告書(年1回)の送付
- ◆OFIXホームページバナー広告無料掲載(法人会員様)

※公益財団法人に対する寄附金の税上の優遇措置適用法人

OFIXホームページ バナー広告募集中！

<https://www.ofix.or.jp/banners/> ※準備中

JICA大阪デスク@OFIX

OFIX事務所に「JICA大阪デスク」を設けています
Tel: 06-6966-2400
Email: jicadpd-desk-osakafu@jica.go.jp



OFIXニュースへの感想、ご意見等お待ちしております
info@ofix.or.jp

アクセス



公益財団法人大阪府国際交流財団(OFIX)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5
マイドームおおさか5階
TEL : 06-6966-2400 FAX : 06-6966-2401
Email : info@ofix.or.jp